

「旅行と環境保全についてのアンケート調査」

- 旅先で「環境保全」を意識している方は 60%以上！
- 旅行中に環境保全に気を付けていることや今後取り組みたいことは「歯ブラシやタオルなど身の回りのアメニティグッズの持参」が最多！
- お客様の「あったらいいな」と思うツアーは「エコ活動でポイントや割引が得られるツアー」や「食事の量が選べるツアー」など！
- 旅行と環境保全に寄せられた最も多いご意見は「ゴミに関すること(減らす努力/持ち帰りなど)」

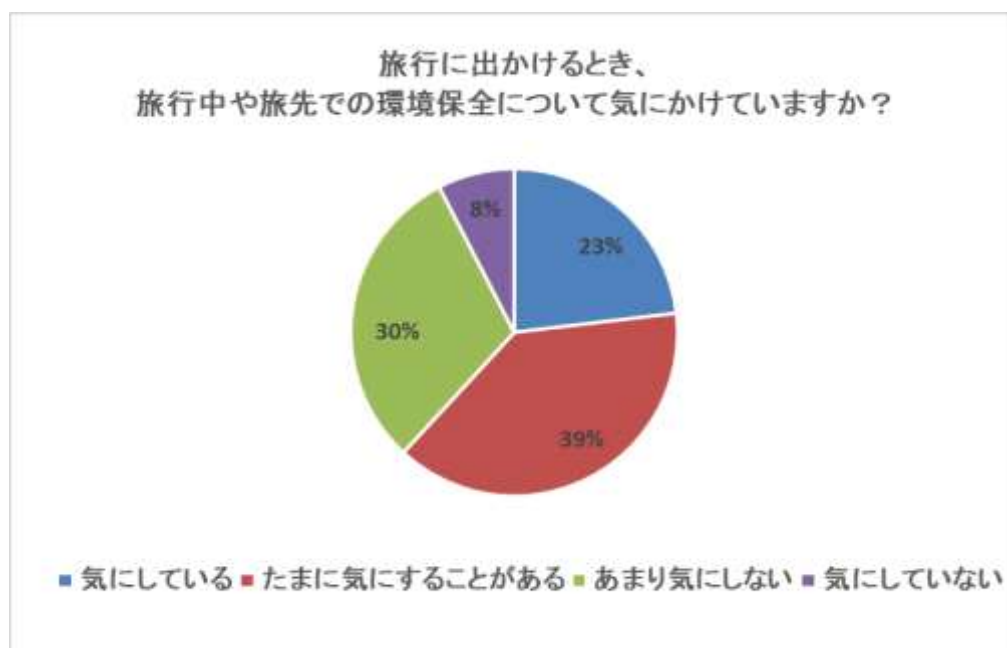
JTB は、JTB 旅のアンケート「**たび**」(<http://www.jtb.co.jp/myjtb/jlabo/>)で「旅行と環境保全について」の WEB アンケートを実施し、調査結果をまとめました。

環境問題により観光地の海が閉鎖になったり、ゴミ問題や自然破壊が進んだり「旅行」と環境保全も切れない関係になっています。そこで、今回は「旅行と環境保全について」の意識と取り組みについて調査しました。

Q 1 旅行に出かけるとき、旅行中や旅先での環境保全について気にかけていますか？（最も当てはまるものを選択）

- 約 6 割以上の方が、旅先での『環境保全』を機にかけている

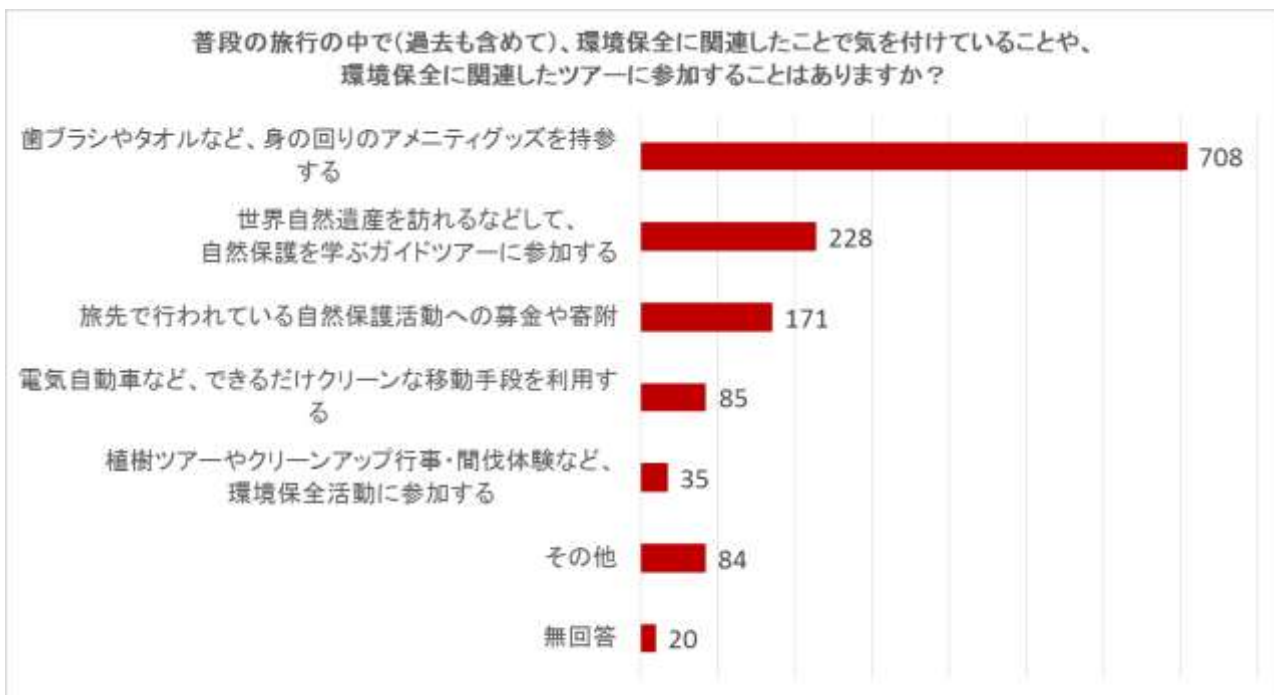
「気にしている」「たまに気にすることがある」をあわせて 62%となり、多くの方が意識されていることがわかりました。



Q 2 (Q1で「気にしている」「たまに気にすることがある」を選んだ方へお伺いします)
 普段の旅行の中で、過去も含めて環境保全に関連したことで、気を付けていることや、
 環境保全に関連したツアーに参加することはありますか。(複数回答)

■ 「歯ブラシやタオルなど身の回りのアメニティグッズの持参」が圧倒的 1 位に

まずは、身近な活動としてできること「歯ブラシやタオルなど、身の回りのアメニティグッズの持参」が 1 位という結果になりました。また、「世界自然遺産を訪れるなど、自然保護ツアーを学ぶガイドツアーに参加する」という、行先として選ぶ行動が 2 位に続いています。



また、84 票あったその他の回答には以下のようなものが上位にランクインしました。

ゴミにまつわる意見と同様に、連泊の際のリネンの交換を控えるという声が多く寄せられました。

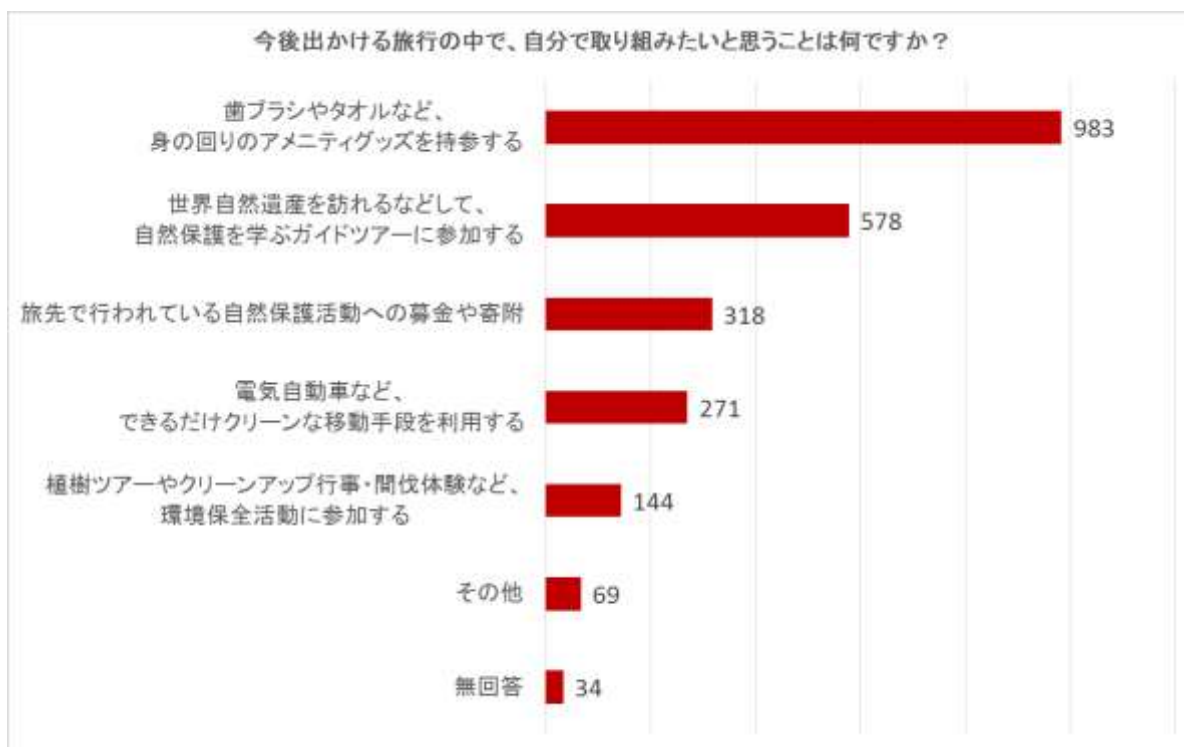
ゴミ関連(ゴミを出さない／持ち込まない／捨てないなど)	28
リネンの交換を控える	26
無駄にしない(食べ残し／アメニティを使いきるなど)	8
自転車の利用(自家用自転車／レンタサイクル／折り畳み自転車)	6
公共交通機関の利用	5

Q3 今後出かける旅行の中で、自分で取り組みたいと思うことはどのようなことですか？
(複数回答)

■ 今後は環境保全活動に取り組んでみたい！という前向きな意識が高い

Q2「今まで取り組んだことがある環境保全活動」と比較をすると、全項目で今後の取り組みについての回答数が多くなりました。

いままでは「アメニティの持参」など身近なことから始めていた人も、実際にツアーに参加したり、寄付をしたりと、新たな取り組みをしてみたいという意欲が伺えます。



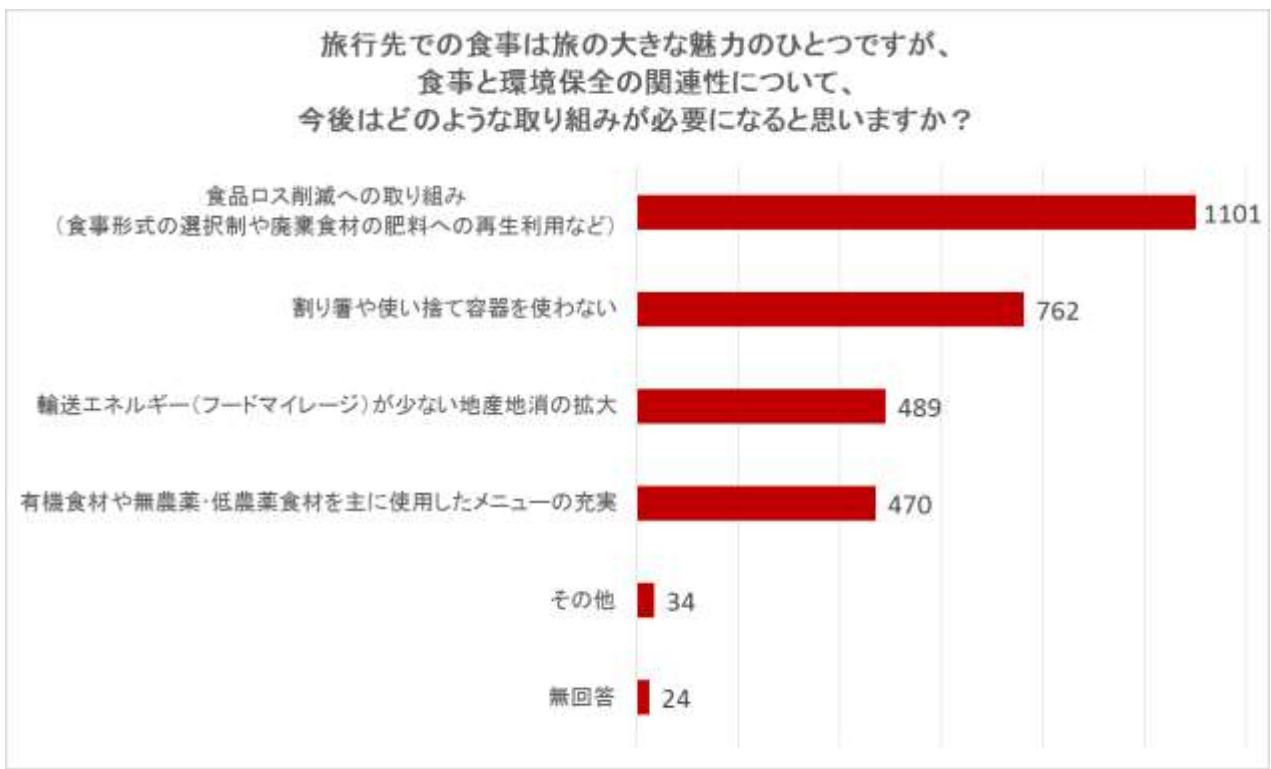
その他の意見としては、Q2 同様に「ゴミに関すること」や連泊時の「リネンの交換を控える／清掃を控える」が寄せられました。

ゴミ関係(ゴミを持ち込まない／減らす)	8
リネンの交換を控える	3
簡易清掃	3
簡易包装	3
自然保護(自然を壊さない／枝木を折らないなど)	2

Q 4 旅行先での食事は旅の大きな魅力の一つですが、食事と環境保全との関連性について、今後はどのような取り組みが必要になるとお思いますか？（複数回答）

■食品ロス・使い捨て削減、「捨てる」ことを減らす取り組みが上位1位、2位に

食事の形式の選択制や廃棄食材の肥料への再生利用など「食品ロス削減への取り組み」への関心が圧倒的な1位でした。ただし、2位の「割り箸や使い捨て容器を使わない」という意見も多く、「捨てる」ことを減らす取り組みに対する関心の高まりを反映しているように見えます。



その他の意見としては、上のグラフ同様に「食べ残しをしない」「地産地消」などが寄せられました。

食べ残さない	3
土地のもの／旬の食べ物	2
プラスチック不使用	1
簡易包装	1
食事量が過剰	1
地産地消メニュー	1

Q 5 旅行会社が企画するツアーの中で、将来こんなツアーや取り組みがあればいいなと思うことはありますか？（自由回答）

■ 一番多かった意見は「エコ活動でポイントや割引が得られるツアー」

700件を超える意見が寄せられました。類似した回答を分類し、上位5つの意見をまとめました。

一番多かったのは身近に取り組める事象に「ポイントや特典が得られる」というもの。また、食事の適量には個人差があることから、「食べ残し」の発生を減らす観点で、「事前に食事の量が選べるツアー」という意見も集まりました。「環境保全／緑化活動／清掃活動ツアー」、「ゴミ処理施設／リサイクル施設を見学するツアー」といった、環境保全の旅行企画にもご意見が寄せられました。

エコ活動でポイントゲット／料金割引／プレゼントが得られるツアー
・連泊で清掃の回数を減らせばホテル代が安くなる
・食後に残菜が出なかったら、宿泊料を割り引くツアー。
・公共交通機関の利用で得られる割引や特典。
・マイ箸やマイコップなど持参すれば旅費が少し安くなるツアー
・環境保全に参加すると旅行のポイントがもらえる
食事の量が選べるツアー
・旅先で出される食事は量が多いことがよくあり、食べきれない。前もってメニューや量が調節できるとよい
・食べ残しを防ぐため、食事量(質)を選べるツアー
・宿で出る夕食の量が多く、食べ残すことがある。旅行者が事前に「大」、「中」、「小」と食事量を自己申告する制度など出来ぬものか。
環境保全／緑化活動／清掃活動ツアー
・森林のゴミ拾いをしながらトレッキングツアー
・植樹ツアーなど自分も記念になり、また訪れるきっかけになるツアー
・ビーチクリーンとウォーキングや自然を学ぶツアー
ゴミを減らす／無駄遣い・使い捨て食べ残しナシのエコツアー
・ごみの持ち帰りは当たり前とし、何でも良いので1つでも環境に良い事を行うことを必須とする。
・使い捨てや食べ残し、アメニティなどのロス在省いたツアー
・使い捨てや食べ残しなどのロス在省いたツアー
ゴミ処理施設／リサイクル施設を見学するツアー
・ゴミ処理施設やリサイクル施設を見学して、ゴミの削減にどうすればいいかの勉強会をするツアー
・ごみ焼却施設見学等で、自分の出したゴミが環境に対して負荷になっている現実を直視できるツアー
・リサイクルなどを利用している施設や生活に取り入れ方を教えてもらえるツアー

Q 6 旅行と環境保全、旅行とエコ活動などについて、お考え・ご意見をご自由にお聞かせください。(自由回答)

■ 一番多かった意見は「ゴミに関すること (減らす努力/持ち帰りなど)」

こちらの設問も 500 件を超える意見が寄せられました。類似した回答を分類し、上位 5 つの意見をまとめてみました。

一番多かったのは、目に見える環境保全である「ゴミに関すること (減らす努力/持ち帰りなど)」というもの。またゴミを出さないためにも「持参できるものは、できるだけ持参したい」という積極的なコメントも寄せられました。

また、一方で「環境保全は理解するが、旅行と環境保全が結びつかない」という意見や「今後は心がけたい」というご意見も寄せられました。

気が付いたら結果的に環境保全につながっている、というご要望も少なくなく、「旅行自体が環境保全になっているといい」という旅行企画そのものについてのご意見もありました。

ゴミに関すること (減らす努力/持ち帰りなど)	
・	旅の恥はかき捨てではないですが、ごみを出さないよう心掛けることが大切に常に気になります。いくらゴミ箱があっても、処理するのは当地の自治体で処理費用が掛かっていると思います。一人ひとりの行動次第です。
・	山歩きではゴミは持ち帰ります、旅行も完全にとは行かなくても考え方は同
・	なるべくゴミを出さないようにして、食べ物も残さないようにする。
・	できるだけゴミを出さない、滞在中のホテルの部屋の掃除なし、などできる
・	ゴミは自分で持ち帰る。当たり前ですが出来ない人が多いので、当たり前は
環境保全は理解はするが、旅行と環境保全が結びつかない	
・	普段は環境について考えたりするが、旅行とは切り離してしまっている
・	環境保全はエコ活動など大事だと思いますが、非日常を求めて旅行に行く事
・	思います・・・
・	環境保全も大事だと思うけれど自分へのご褒美で旅行にはいくので非日常
・	考えたことはない
今後心がけたい/今後取り組みたい	
・	いままで旅行と環境保全を関連づけて考えてこなかったけど、これからは大
・	これからは、旅行先でのエコに関心を持とうと思います
・	旅先では普段より解放的になり、浪費がちになってしまう。そんな時こそ環
持参できるものは、できるだけ持参したい	
・	できるだけ自分のものを持参し使うようにしている。歯ブラシ、コップ、シャ
・	マイ箸は、家族で愛用しています。小さな事ですが家族の環境への活動を
・	大きなことはできませんが、歯ブラシ、シャンプーなどのアメニティは持参す
旅行自体が環境保全になっているといい	
・	旅行は楽しむために行くので、初めからエコな取り組みを強調するのではな
・	旅行することで、自然と環境保全の活動に参加できるような取り組みがある
・	旅行中に気が付かないうちにエコ活動になっていたというのがいいです

アンケート結果

有効回答数	1,660
調査期間	2019年1月24日～31日

性別	有効回答数
男性	841
女性	819
不詳	0

年代	回答数
10代	1
20代	108
30代	224
40代	414
50代	516
60代	320
70代	70
80代以上	5
不詳	2

＜問合せ先＞ JTB広報室 03-5796-5833